株式会社ワークマン
（証券コード7564）

第44期 2025年3月期 報告書

2024.4.1～2025.3.31

CONTENTS

01. 株主の皆様へ
02. 業績ハイライト
03. 商品開発
04. 店舗展開
05. トピックス
06. 財務諸表

01 株主の皆様へ *Top Message*

代表取締役社長　**小濱 英之**

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

ここに、当社第44期報告書をお手許にお届けするにあたり一言ご挨拶申しあげます。

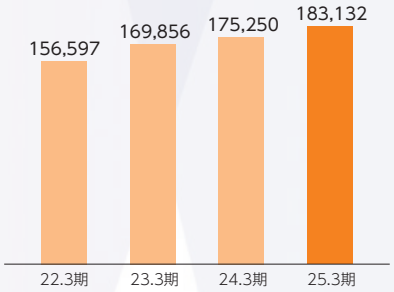
機能性や価格、お客様が求める「価値」にお応えする

当事業年度は、実質所得の改善により景気は緩やかな回復基調となりましたが、物価高による節約志向の高まりや、気候変動に伴う販売機会損失など、厳しい事業環境となりました。

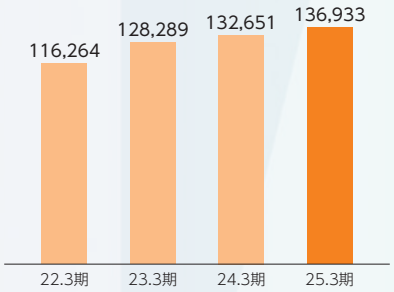
当社におきましては、長期化する円安や原材料価格の高騰により、2期連続の増収減益という厳しい状況下でのスタートとなりました。この状況を打破すべく、商品リニューアルによる付加価値の向上や柔軟な価格政策への転換で収益性の改善に取り組みました。販売面では、気候変動への対応に課題を残す結果となりましたが、過酷な環境になるにつれ、当社に対する機能性の要求が高まっていると実感しております。そこで、新たに「機能格付け」を始動、ホームページやタグ等で機能性を可視化することで、これまでご愛顧いただいているプロ職人はもとより、一般のお客様のニーズにも応える商品提案を行いました。地球温暖化という逆境をビジネスチャンスと捉え、新素材・新機能開発を推進し、強固な顧客基盤の構築に努めて参ります。

02 業績ハイライト *Highlights*

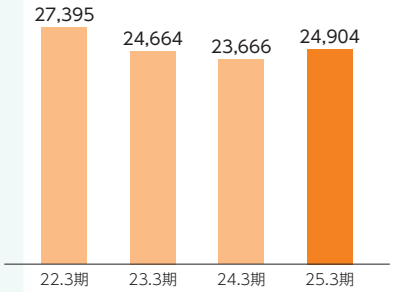
チェーン全店売上高 (百万円)



営業総収入 (百万円)



経常利益 (百万円)



「Workman Colors」で客層拡大を加速

当社の経営課題は「客層拡大」になります。2018年のワークマンプラス開業を皮切りに、アウトドアやスポーツの分野で一般消費者への認知度を高めました。続いて、2020年には＃ワークマン女子を展開、女性客を中心にカジュアル需要を取り込みました。そして、2025年2月からは「Workman Colors」を本格展開し、年齢や性別を問わず、男性やキッズなど一般消費者を対象に一層の客層拡大を推し進めました。このように、当社では、お客様の「声」のする方に、業容を拡大し絶えず課題解決に取り組んでおります。

今後も本来の強みである「ワーク」を磨きながら、アウトドア等の「アクティブ」需要にも対応し、そして、機能性や価格、ベーシックだが少し光るデザインなどワークマンらしさを最大限活かした「カジュアル」を展開することで、持続的成長を目指して参ります。

これらの取り組みによって、チェーン全店売上高は前期比104.5％で安定した成長を維持しました。また、利益面に関しても、柔軟な価格政策により収益性の改善が図れ、3期ぶりの増収増益を達成いたしました。

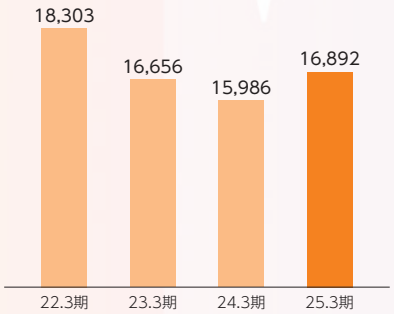
当事業年度は経済や社会、環境において激動な一年となり、多様な価値観が生まれる中で、事業戦略を見直す良い機会となりました。このような時代だからこそ、根源にある「For the Customers」を大切にしながら、進化を遂げていく必要があると考えております。

次のステージに駆け上がるために2026年3月期をスタートとする「中期成長ビジョン2030」を策定しました。ワークマンだからこそ出来る新たな価値創造に挑戦し、さらなる成長を目指して参ります。

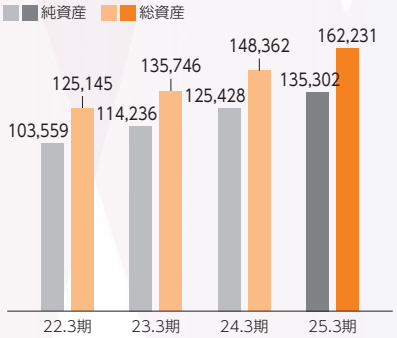
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2025年6月

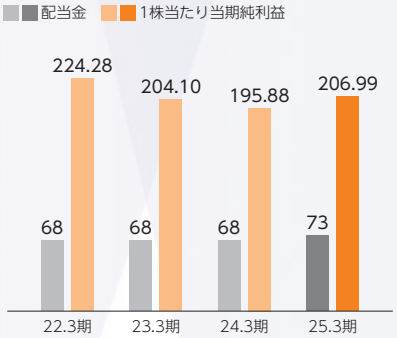
当期純利益（百万円）



総資産・純資産（百万円）

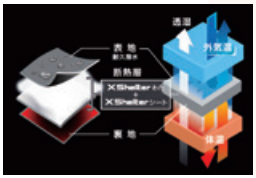


配当金・1株当たり当期純利益（円）



新素材・新機能開発で、快適さをアップグレード

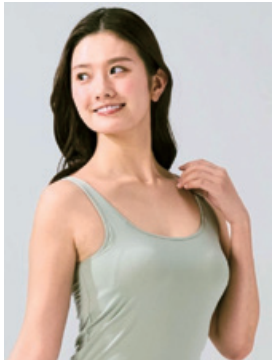
当期最もヒットした商品はXShelter（エックスシェルター）になります。「断熱シート」と「発熱わた」という2つの機能素材が互いに作用することで、衣服内の温度を極限まで保つ、ワークマン史上初の断熱テクノロジーです。このようにワークマンならではの機能開発を行うことで、より多くのお客様に新たな価値を提供しました。



機能と着心地をすべてのお客様へ届ける

Workman Colorsの出店加速に合わせて、キッズやメンズカジュアルを充実しました。当社商品の機能性を、ご家族で体験いただくことで、ファン層を広げました。

お客様の来店頻度向上を目指し、インナーウエアの品揃えを強化しました。競合がひしめく市場ではございますが、機能と価格で差別化を図り、シェア拡大に取り組みました。



すべてのプロ職人を応援するラインナップ

2本編み軍手10双組
199円

ポリエステルヤッケ
399円

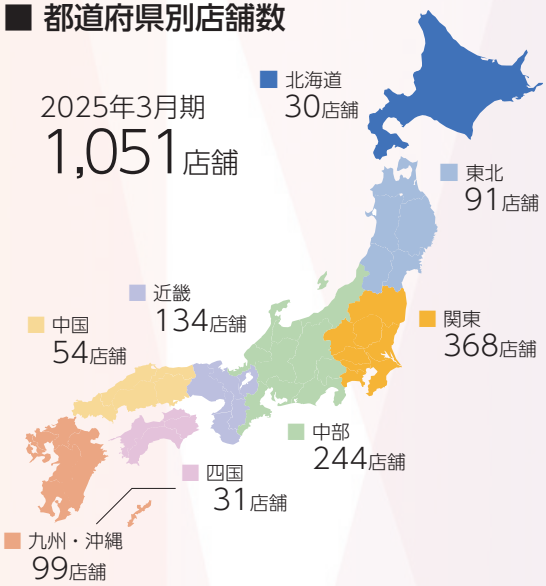
クイック＆ドライ
長袖ポロシャツ
580円

プロ職人に「ワークマンやるね！」と言っていただけるよう、業界最安値を目指した「やる値シリーズ」を展開しました。

地球温暖化の影響により、夏場の屋外作業は年々過酷になっております。快適で安全な作業環境をサポートする機能性ウエアの開発を推進しました。

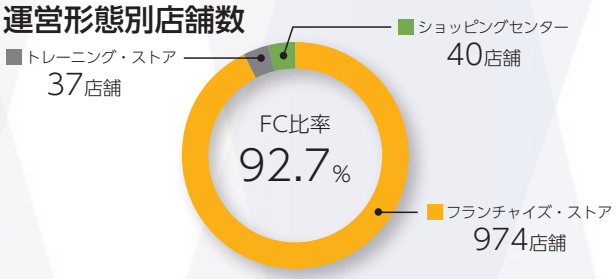
一般向け新業態「Workman Colors」の出店を加速

■ 都道府県別店舗数



■ 業態別店舗数

■ 運営形態別店舗数



Workman Colors

経営課題である「客層拡大」を推し進めるために、一般向け業態を＃ワークマン女子から「Workman Colors」へ変更し、ロードサイド展開を加速しました。年齢や性別を問わず、すべてのお客様にお買い物を楽しんでいただける店舗を目指して参ります。

WORKMAN Plus Ⅱ

商圏人口が少ないエリアでは、ワークマンプラスに一般向け商品をプラスしたハイブリッド型店舗「WORKMAN Plus Ⅱ」を展開しました。この業態を確立することで出店の可能性が広がり、目標とする1,500店舗体制に向けて一歩前進しました。

2024年秋冬新製品発表会

2024年8月に東京国際フォーラムで開催しました秋冬新製品発表会では、メディアやインフルエンサー、法人企業など、過去最多のご来場者数を記録しました。

今回のイベントは機能性の体験を充実させ、冷凍庫や豪雨体験コーナーを設置し、当社イチオシの「着る断熱材」こと「Xshelterシリーズ」が大きな話題となりました。また、一般向けでは、メンズアイテムの大人カジュアル宣言やトレンド性を高めた専売商品を打ち出すなど、これまでのイメージを刷新するような新製品を展示しました。

「機能の格付け、始まる。」

製品の機能を表したピクトグラムの数は約260種類に及びます。お客様が迷わずお目当ての商品をお選びいただけるように、機能をグレード表記して分かりやすく伝えていきます。まずは、耐雨度と紫外線に関する情報を当社オフィシャルホームページに掲載し、商品選びの参考としてご活用いただいております。

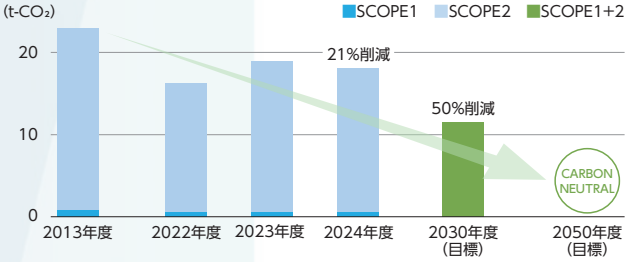
サステナビリティ

当期も業績に大きく影響を与えている「気候変動」に関する取り組みを強化しました。その一環として、2024年10月開店の皆野店で、断熱材の変更や二重ガラスを導入し、電力消費量の削減を目的とした環境配慮型店舗の実験をスタートしました。

また、TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づく開示として、気候変動が与えるリスクと機会に関するシナリオ分析やSCOPE3の算定に着手しました。

カーボンニュートラルは長期目標であるため、進捗管理及び情報開示等を継続的に実施し、課題解決に向けて取り組んで参ります。

指標	1店舗当たりのGHG排出量（t-CO_2）
2030年度目標	2013年度比 50%削減
2050年度目標	カーボンニュートラル



06 財務諸表 *Financial Statements*

WORKMAN

■ 貸借対照表

(単位：百万円)

科　目	前事業年度 2024年3月31日現在	当事業年度 2025年3月31日現在
資産の部		
流動資産	**112,648**	**121,066**
現金及び預金	68,187	80,381
加盟店貸勘定	14,407	12,594
商品	25,270	24,084
その他	4,782	4,005
固定資産	**35,714**	**41,164**
有形固定資産	28,755	32,814
無形固定資産	760	1,090
投資その他の資産	6,197	7,259
資産合計	**148,362**	**162,231**
負債の部		
流動負債	**18,334**	**22,145**
買掛金	7,205	8,852
短期借入金	1,350	1,350
未払法人税等	4,054	4,654
その他	5,725	7,288
固定負債	**4,599**	**4,783**
負債合計	**22,934**	**26,928**
純資産の部		
株主資本	**124,438**	**135,781**
評価・換算差額等	**990**	**△478**
純資産合計	**125,428**	**135,302**
負債・純資産合計	**148,362**	**162,231**

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 損益計算書

(単位：百万円)

科　目	前事業年度 自2023年4月 1日 至2024年3月31日	当事業年度 自2024年4月 1日 至2025年3月31日
営業総収入	**132,651**	**136,933**
売上高	96,647	99,670
加盟店からの収入	35,872	37,110
その他の営業収入	130	153
売上原価	**85,420**	**85,771**
販売費及び一般管理費	24,087	26,768
営業利益	**23,142**	**24,394**
営業外収益	563	544
営業外費用	40	34
経常利益	**23,666**	**24,904**
特別利益	1	2
特別損失	31	16
税引前当期純利益	**23,636**	**24,890**
法人税等	7,650	7,998
当期純利益	**15,986**	**16,892**

■ キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科　目	前事業年度 自2023年4月 1日 至2024年3月31日	当事業年度 自2024年4月 1日 至2025年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	**15,228**	**24,793**
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△8,999**	**△29,929**
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△5,681**	**△5,669**
現金及び現金同等物の増減額	**547**	**△10,806**
現金及び現金同等物の期首残高	**47,640**	**48,187**
現金及び現金同等物の期末残高	**48,187**	**37,381**

■会社概要（2025年3月31日現在）

商号	株式会社ワークマン
設立	1979年11月30日
本社	群馬県伊勢崎市柴町1732番地
資本金	1,622百万円
従業員数	417名
事業内容	フランチャイズシステムで作業服、作業関連用品、アウトドア・スポーツウエア及びカジュアルウエアを販売する専門店チェーン

■役員（2025年6月26日現在）

代表取締役社長	小濱　英之
専務取締役	土屋　哲雄
取締役	飯塚　幸孝
取締役	大内　康二
社外取締役	濱屋　理沙
取締役（常勤監査等委員）	加藤　昌宏
社外取締役（監査等委員）	堀口　　均
社外取締役（監査等委員）	信澤　山洋

■株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月開催
定時株主総会の基準日	毎年３月31日
配当基準日	毎年３月31日 （中間配当を行う場合は９月30日）
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目３番３号 みずほ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目８番４号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 フリーダイヤル0120-288-324（土・日・祝日を除く9：00-17：00）
公告方法	日本経済新聞
ホームページのご案内	当社ホームページで、会社案内、IR情報などを掲載しております。 https://www.workman.co.jp/

ご注意

1．証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
　証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）、下記のお取扱店にてお取り次いたします。
　なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の上記連絡先にお問い合わせください。

2．未受領の配当金につきましては、下記のお取扱店またはみずほ銀行本店及び全国各支店でもお取り扱いいたします。

〔お取扱店〕
みずほ信託銀行株式会社　本店及び全国各支店